

第75回（令和8年度）横浜文化賞 受賞者決定しました！

～贈呈式・記念コンサートに市民の皆様 250 名をご招待～

横浜市の最高顕彰である「横浜文化賞」の今年度の受賞者が決定しました。

受賞者は、令和8年7月28日に開催された横浜文化賞選考委員会（委員長：近藤 誠一 横浜市芸術文化振興財団理事長）において選考されました。

ついては、贈呈式・記念コンサートに抽選で250名様を無料招待します。多くの方のご応募をお待ちしております。

1 受賞者（受賞者プロフィールは、別紙をご参照ください）

(1) 横浜文化賞

芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々

（50音順・敬称略・年齢は9月17日現在）

分野	氏名	年齢	職業等
芸術	いぬい くみこ 乾 久美子	57歳	建築家、横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授
文学	かくた みつよ 角田 光代	59歳	作家
芸術	たけなか なおと 竹中 直人	70歳	俳優
スポーツ振興	なかむら しゅんすけ 中村 俊輔	48歳	サッカー指導者、元プロサッカー選手

(2) 横浜文化賞 奨励賞

文化・芸術分野において、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される方々

（50音順・敬称略・年齢は9月17日現在）

分野	氏名	年齢	職業等
芸術	かまた ゆうすけ 鎌田 友介	41歳	美術家
芸術	くわはら しおり 桑原 志織	30歳	ピアニスト

2 贈呈式・記念コンサート（詳細は、別添チラシをご参照ください）

日程：令和8年11月19日（木）11:00 開式

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール（西区みなとみらい2-3-6）

出演：^{やまね かずひと}山根 一仁（ヴァイオリニスト）

※贈呈式・記念コンサートに、市民の皆様（抽選で250名）をご招待します！

※取材案内については別途お知らせします。

お問合せ先
文化振興課長 森兼 Tel 045-671-3703



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



横浜文化賞

受賞者プロフィール
(50音順・敬称略)

○ 乾 久美子 建築家、横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授

2000年に自身の建築設計事務所を設立して以来、国内外で活躍している建築家。ベネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞や日本建築学会賞（作品）など多数受賞している。

2025年にリニューアルオープンした横浜美術館では、無料エリア「じゆうエリア」の空間構築・サイン計画を手掛け、誰にとっても居心地の良い空間へと再生し、既存建築を尊重しながら新たな魅力を引き出すデザインで注目を集めた。

2016年より、横浜国立大学都市イノベーション学府・研究院建築都市デザインコース（Y-GSA）にて教授を務め、横浜で建築を学ぶ学生たちの指導と人材育成に尽力している。



○ 角田 光代 作家

横浜市出身の作家。1990年「幸福な遊戯」で海燕新人文文学賞を受賞しデビュー。2005年に「対岸の彼女」で直木賞を受賞し、2025年には「方舟を燃やす」で第59回吉川英治文学賞を受賞するなど、現代社会における人間の孤独や葛藤を繊細に描く作品で現代日本文学を代表する存在として高い評価を得ている。映画・ドラマ化された作品も多い。

そのほか児童文学、エッセイ、翻訳など幅広く創作を展開しており、2021年には「源氏物語」訳で読売文学賞を受賞した。長年にわたり第一線で創作を重ね、その作品群は世代・性別・国境を超えて広く読まれ、日本文化の海外発信に貢献している。

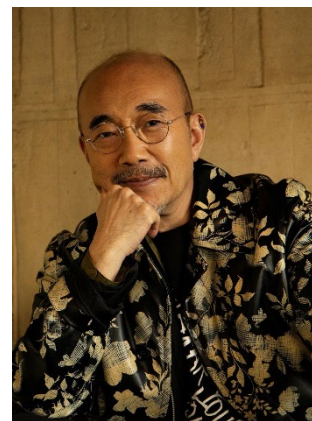


©森清

○ 竹中 直人 俳優

横浜市出身の俳優。1991年、初監督作「無能の人」でヴェネツィア国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞と共に第42回芸術選奨文部大臣新人賞及び第15回日本アカデミー賞優秀主演男優賞を受賞。2025年には主演舞台で紀伊國屋演劇賞受賞。1996年、大河ドラマ「秀吉」で豊臣秀吉を演じ話題に。映画・テレビドラマ・舞台・CMなど多方面にわたり第一線で活躍し、数多くの受賞歴を持つ。

地元横浜との関わりも強く、2023年の第1回横浜国際映画祭でアンバサダーを務めたほか、横浜市制作の短編ドラマで主演を務め、人生の最終段階を考え、希望する医療・ケアについて家族や大切な人と話し合う『人生会議』の啓発に貢献した。



○ ^{なかむら}中村 ^{しゅんすけ}俊輔 サッカー指導者、元プロサッカー選手

横浜深園 SC でサッカーを始め、中学時代は日産 FC ジュニアユースでプレー。桐光学園高校卒業後の 1997 年に横浜マリノスへ加入し、J リーグ最優秀選手賞やベストイレブンなどを受賞。イタリア、スコットランド、スペインの各クラブでも活躍し、UEFA チャンピオンズリーグではマンチェスター・ユナイテッド戦で2度の直接 FK を決めるなど、欧州の舞台でも実力を発揮した。日本代表としても長年チームを牽引し、2010 年に横浜 F・マリノスへ復帰。ジュビロ磐田でのプレーを経て、2019 年に横浜 FC へ移籍し、2022 年に現役を引退。現在は日本サッカー協会のナショナルコーチングスタッフとして後進の育成に尽力している。



受賞者プロフィール
(50 音順・敬称略)

○ ^{かまた}鎌田 ^{ゆうすけ}友介 美術家

横浜市出身の美術家。美術と建築を横断する実践を国内外で展開している。東京藝術大学大学院修了後も横浜を拠点に活動し、「ハンマーヘッドスタジオ新・港区」や「旧劇場」を制作拠点として地域に開かれた活動を続け、三溪園や BankART Studio NYK、黄金町バザール、エリスマン邸、横浜市民ギャラリーなどで作品を発表してきた。

近年は原三溪に関するリサーチと制作に取り組み、その成果を横浜美術館で発表。韓国、台湾、アメリカ、ブラジルなどを舞台とした日本家屋の調査研究にも取り組み、美術と建築をめぐる独自の表現で注目を集めており、今後のさらなる飛躍が期待されている。



○ ^{くわはら}桑原 ^{しおり}志織 ピアニスト

ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞をはじめ、数々の国際コンクールで優れた成績を収め、国内外で高い評価を受けているピアニスト。東京藝術大学を首席で卒業後、ベルリン芸術大学大学院を最優秀で修了した。ブゾーニ国際ピアノコンクールやルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールでも日本人史上最高位を獲得。

2021 年の横浜市招待国際ピアノ演奏会への出演を機に横浜との関わりを深め、その後も横浜みなとみらいホール事業や金沢区音楽振興事業などに出演している。豊かな音楽性と確かな技巧を備えた若手演奏家として、今後のさらなる活躍が期待されている。



©木村直軌

【参考】横浜文化賞選考委員

(50 音順・敬称略)

	氏 名	役 職 名 等
	上野 孝	横浜商工会議所 会頭
	荻野 アンナ	作家、神奈川県立近代文学館 館長
	奥山 千鶴子	認定 NP0 法人びーのびーの 会長
	大日方 邦子	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事
◎	近藤 誠一	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 理事長
	高島 礼子	俳優
	日比野 克彦	東京藝術大学 学長
○	藤嶋 昭	東京理科大学 栄誉教授
	三好 勝則	芸術文化振興基金運営委員会 運営委員長
	渡邊 忠則	横浜市会議長

※◎…委員長、○…副委員長

第75回 横浜文化賞

250名様
無料ご招待

贈呈式 記念コンサート

2026.11/19 (木)

開場 10:30 開式 11:00 (13:00終了予定)

場所

横浜みなとみらいホール 小ホール

出演

山根 一仁 (ヴァイオリン)

[平成23年度 横浜文化賞文化・芸術奨励賞 受賞]

曲目

● J.S. バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ
第3番 ホ長調 BWV1006

● H. ビーバー

《ロザリオのソナタ》より「パッサカリア」

● H. エルンスト

シューベルトの『魔王』の
主題による大奇想曲 op.26

※曲目は変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。



横浜文化賞とは

横浜市では、昭和27(1952)年度から、芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興などの文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々に「横浜文化賞」を贈呈してきました。また、平成3(1991)年度の第40回からは、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々に「横浜文化賞 奨励賞(旧:横浜文化芸術奨励賞)」を贈呈しています。

記念コンサート出演者



©T.Tairadate

山根 一仁 (ヴァイオリン)

バロック音楽から現代音楽さらにはジャズまでの幅広いレパートリーを、独自の鋭い感性と鮮烈なテクニックをもって、真摯に作品に取り組むヴァイオリニスト。

近年はJ.S.バッハ作品の演奏に力を入れており、無伴奏全曲演奏会は毎回大きな反響を呼ぶ。2024年にキングレコードから同曲全集をリリース。

2025年、小林道夫氏(チェンバロ)とJ.S.バッハの〈ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ〉全曲演奏会を3都市で行い、2026年1月にはジャズ作曲家・狭間美帆とヴァイオリニストの滝千春が立ち上げたプロジェクト〈MaNGROVE〉のツアーに参加して各地で好評を博した。

第79回日本音楽コンクール第1位。およびレウカディア賞、黒柳賞、鷲見賞、岩谷賞(聴衆賞)並びに全部門を通し最も印象的な演奏・作品に贈られる増沢賞を受賞。これまでバーミンガム市響、プラハ=カメラータ、N響、新日本フィル、日本フィル、都響、東響、など国内外のオーケストラと共演する他、ベルリン・フィル五重奏団、M.ヴェンゲローフ、P.ウィスベルウェイ、N.メンケマイヤーらとの共演でも注目を集める。

プログラム

第1部 式典

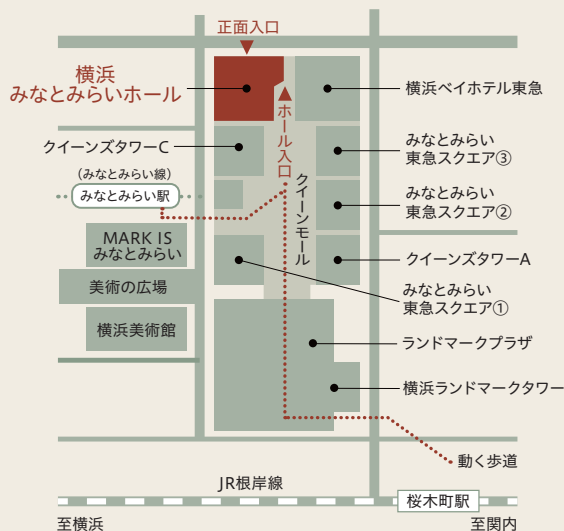
第2部 記念コンサート(約30分)

アクセス

横浜みなとみらいホール

横浜市西区みなとみらい2-3-6 クイーンズスクエア横浜

- みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩3分
- JR市営地下鉄「桜木町駅」徒歩12分



申込方法

横浜市在住、在勤、在学の方対象で、お一人につき、2名様までのお申込みができます。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

1 電子申請・届出システムからの申込み

10月15日(木)までに右記の二次元コードからお申込みください。▶



2 はがきによる申込み

- 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、希望人数(2名まで)を明記。
- 在勤・在学の方は、勤務先・学校名を記載。
- 手話通訳必要、車いすでの来場がある場合、明記。

締切日 10月15日(木) 必着

申込み先 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
「横浜市にぎわいスポーツ文化局 横浜文化賞担当」
電話 045-671-3714

- 抽選結果は、10月末頃に当落に関わらず、全員にはがきでご連絡します。

※いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

※ご当選後に託児サービスのご利用を希望される場合は、みなとみらいホールが提供する託児サービスがご利用になります。詳しくはみなとみらいホールのホームページをご確認ください。

	231-0005	横浜市中区本町6-50-10
横浜文化賞担当	行	横浜市中区本町6-50-10

(表面)

郵便番号、住所
氏名(ふりがな)
電話番号
希望人数 ○人(2名まで)
勤務先又は学校名
(市内在住でない方)

以下は、該当者の方のみ
ご記入ください
手話通訳必要
車いすで来場します

(裏面)